

令和4年度第1回「金沢の未来を語る会」

・日時：令和4年9月20日（火）18時30分～

・場所：教育プラザ富樫 研修室

1 開会

【村山金沢市長】

皆さん、こんばんは。夜のこういった時間、なかなか出づらい時間にお集まりをいただきました。ありがとうございます。

本日は、金沢の未来を語る会ということで開催をさせていただきました。

今日をはじめとして、これから4回にわたって公民館の館長様、そして校下婦人会の会長様にお話をさせていただきたいというように思っております。

現在、10年後の、10年間の都市像ということで、少し長期にわたる計画を策定しているその作業中でございます。それに当たりまして、まず公民館と校下婦人会の皆様は、4回に分けての開催ではありますけれども、全ての方からご意見をいただきたいというように思いまして、今回開催をさせていただきました。

これとは別に、町会連合会の皆様にはまちづくりミーティングを開催しておりますけれども、また違った形での意見交換をさせていただきたいというように思っております。

今後、この後の説明でも、これからどのように進めるかということの話もさせていただきますけれども、様々な形の団体からのご意見もいただきながら、来年度の都市像の策定に向けていろんなご意見を伺ってまいりたいと考えておりますので、お寄せいただきたいというように思っております。よろしく願いいたします。

2 市長講和「親和力で奏でる金沢」

市長講和の内容については、レジュメを参考願います。

3 意見交換

【三馬公民館】

三馬校下には、おおよそ人口1万4,000人おります。日頃から三馬は人口で言う申しわけないですけども、珠洲市、宝達志水町よりも人口が多いんだよと。したがって、我々はやるのが何でも金沢市の発展にもつながるんだということでいろんなものを取り組んできておりますし、そしていろんな今の話じゃないですけども、意見や考えがあれば何でも言ってくださいということを常にしております。

その中に、今司会の方おっしゃられた大きな未来を語るというようなそこまで行かないんですけども、最近の話でございますけれども、今日、危機管理課の方もいらっしゃいます。

公民館が避難場所になっております。したがって、避難の倉庫も災害の機材いっぱい入っております。それで、婦人会の方がよく点検をするんですよ。期限が切れとるもんだろかなとか。そうすると、調べてやろうか言うたら、こんなもん触るなど。おまえら触る必要はないんやというようなお話も聞きます。これはちょっとまずいやろうと。今日もそういった話があるんで、その辺も聞いてみるわと。期限が切れておるものを勝手に処分をしたらいかなと。

例えば、悪いんですけど、何か災害のときの女の何かもあります。生理用品が例えばあります。そういったものはやっぱりずっと置いておくわけにいかないじゃないですか。それも触ろうとしても触るな。食べ物も期限が来ても触るなど。ほんなら、いつやってくれるんかて、いつもずっとしばらくやってくれない。そのままになっております。そういったものもやっぱりもう少しやろうとする気持ちがあったら、その気持ちを生かすようなことが大事じゃないかなというふうに思います。

もう一点が、これもちょっとお話、本当にちっちゃな話なんですけれども、申しわけないですけども、市からよくチラシ、宣伝用紙やいろんな回覧が入ってきます。それで、この前も機会あるときに配る人、見る人の立場でもう少し回覧を整理して出してほしいということを言いましたけれども、一向になかなか直らない。つまり、配る人が持っていきます。回覧の箱から持っていきます。そして、持っていった次また入ってきます。それで、いつまでたっても何かまた来る、また配る、また来る、また配るの繰り返しがあります。そういったものをもう少し整理をしてほしいということも申し上げておったんですけども、それもなかなか直らない。

それで、例えばこの前うちの公民館であるとお年寄りがよく入館、利用してくれるんですけども、トイレが少なくて非常に困るというようなお話がありまして、これもなか

なか改善のお願いするんですけれども、場所の問題やいろいろありまして。例えばうちの場合やったらトイレが3つ、女性の場合に3か所しかないんで、これもなかなか改善していかないとお年寄りやらが大変困るんじゃないかなということでございまして、それも何かうまい方法はないかなということをよく話をするんですけれども、何か機会あったら考えていかないかなんかということは言っておるんですけれども、なかなか前へ進まないというような現状であります。

そういった細かいことを整理することによって、三馬の公民館あるいは三馬の公民館がよくなるということは金沢市もよくなる。金沢市がよくなるということは、先ほどのいろんな話が出てること、細かいことを積み重ねて改善していくことが大事じゃないかなということをもっと最初に申し上げたいんで、今話をいたしました。

関係する方、もし早口でちょっと言いましたんですけれども、答えがあればおっしゃっていただいて。時間あれば、それこそ大きな問題に提案をさせていただきたいと思います。以上です。

【上野危機管理監】

危機管理監の私のほうから最初の質問にお答えしたいと思います。

まず、公民館の皆様、今日お集まりの皆様につきましては、日頃の災害の対策等も含めましていつもお世話になってありがとうございます。

今ほど備品のお話があったかなと思うんですが、もし私どものほうで至らないところがあったら大変申しわけございません。早速帰って今のお話は伝えたいと思います。

今年度、やはりそういったいろんな備品に関しては、今、更新の時期が切れないのかというお話もございましたので、そういった問題もあるということも把握しておりまして、今年度、備蓄計画というものを策定をしております、一応年内に骨格をつくって、年度内に市民の皆様の意見も取り入れた形で自助・共助・公助、そういった立場からそういった防災の備蓄計画についても策定しております。

その中で、今おっしゃったような、まず更新あるいはいろんな修理とか、そういういろんなことがあろうかと思っておりますので、そこはこれまでの課題も踏まえまして、外部の方も入っていただいて、今書面を作っている最中ですので、まずその辺は、今年度まず備蓄計画を作成したいということで、その中で来年度以降になりますけれども、課題があった点については改めてまいりたいなと思います。

ただ、今、現在のお話もございましたので、これは私のほうで責任を持ちまして、明日、職場のほうに持ち帰りまして、そういった課題があれば伝えますので、その辺はまた、何なりと私のほうにそういった課題があれば遠慮なくおっしゃっていただくと非常に助かりますので、またいろいろ教えてください。よろしく願いいたします。

【安宅生涯学習課長】

いつもありがとうございます。生涯学習課の安宅でございます。

まず、チラシのお話ですけれども、確かにいろいろ次から次と公民館さんのところには行くことになるかなと思います。こちらのほうもできるだけ取捨選択はしたいと思っておるんですが、出されるほうも一生懸命何とかして公民館のほうに置いてほしいという気持ちも分からんでもないという思いもあります。

ただ、それが非常に大変なことというのは、公民館もそうですし、学校もそうですし、いろんなところでそういうふうになりますので、できるだけ生涯学習課のほうでは精査できるものは精査していきたいというふうに思っています。

これは本当に全部に配らんなんものなのかなどうなんだということは少しこっちのほうで考えていきたいというふうに思います。本来なら全館に配付していきたいという思いがありますので、きっと出されるほうもそういうふうに思っていると思いますので、そこをちょっと説得しながらという話にはなります。今後、また考えていきます。

それから、トイレの話ですが、これも建物の話になります。確かに社会情勢変わってきてまして当然和式トイレから洋式トイレになっているところもありますし、それぞれいろんな要望がきっとその公民館、公民館によっても違うと思います。そういう相談事につきましては、うちの生涯学習課、地域教育係が基本的には相談窓口で一旦引き受けさせていただいて、そこでどうするんだということは少しお話しさせていただければいいのかなと。

当然、毎年、施設の修繕の要望というのも聞いていると思いますので、その中でまたお話ししていただければいいですし、もっと早くしたいという話ならば、そこはまた生涯学習課のほうにご相談いただければと思っています。

【三馬公民館】

ありがとうございました。

【城南公民館】

市民の一人として、今市長さんがお話しになった中で、2点ほど質問させていただきたいと思います。

まず、世界に誇る文化都市・金沢に向けてという項目の中で、未就学児へということで、「自尊感情」を高めることによって金沢で「子育てをしたい」という思いを育てるということでございましたけれども、金沢で子育てをしたいというのは、県内で言えば川北のように、やっぱりそういう各種助成によって住みよいところになるんだろうと思うんです。この「自尊感情」を高めることで金沢を「子育てしたいまち」にするということは、一つの手かだと思いますけれども、そういう意味では弱いのではないかというのが一つ。

同じく、小中学校で金沢への愛着の醸成というものがございますけれども、これはやっぱり我々それぞれ地元で遺産、それから偉人の方がいらっしゃいますので、そういう意味で公民館としてもそういうものを小学生に教えて、それを通じて金沢への愛着を醸成するというところでございました。そういう意味では、学校との協力も必要でございます。

生涯学習とともに学校教育の中でそういう時間が、当然、たしか4年生だったかにふるさと教育ということであると思いますが、そういうところで金沢全体もありますけれども、それぞれの地域での学習を進めていただければと思っております。

2点目ですけれども、この中に子どもたちへつなげる「親和力」ということで、「豊かな心を育み、満足度の高い社会の形成」とございますが、この中で書いてあることは3項目あるんですけれども、いずれも大ざっぱなことございまして、50年計画でも書けるようなものでございますが、この点、10年計画の中でどういうふうに進めていかれるのか、お考えをお聞きしたいと思います。

【村山金沢市長】

すみません。ありがとうございます。

最初の未就学児に対しての各種助成をということのご意見については、ご意見として承っておきます。

どういう形で子育て支援をしていくかというのは、それぞれの自治体で、それぞれの考える考え次第かなとも思いますけれども、川北と違うところとしては、子どもが少なくなっているとはいってもかなりの財源が必要になるというところなんです。そこの相談にもなりますし、今、金沢市がもしやったらすれば、全ての市町村もやらなければいけないこと

にもなります。

私のこの助成金についての話は、医療費についてもそうですし、給食費についてもそうなんですけれども、これは国単位でやる話であるというように考えていて、そういったことを国に対しても要望はしているところでもあります。

もう一つの偉人に関する教育について、この教養を深めるということについては、今日は教育委員会のほうは生涯学習課しか来ておらないんですけれども、教育委員会のほうで検討をいただくことというように思っています。

学校の教育の中でも、今、小学校4年生に対して全ての児童に対しての21世紀美術館でのミュージアム・クルーズであったり、全ての中学3年生の観能教室であったりを行っております。そういったところとのバランスも考えながら、ほかにどこの学年でどういったことをやるべきかということ。これも今でも興味のある子あるいは興味の関心の強い親はそういった子ども何々教室というのに通わせているんですけれども、それだけでは足りないというように思っていますので、学業を通じたそういったことができないかというように思っております。

今回、もう一つお話のあった「豊かな心を育み、満足度の高い社会を形成する」というところのこの内容ですけれども、予算の内容です。ここで、この語句は下にあるんですけれども、非常に細かいものでしたので、このようにまとめさせていただきました。

具体的には、学校での教育環境について、教員というか補助教員あるいはほかの方々の追加増員であるとかといったところなどもここでは盛り込んでおりますけれども、また詳細についてということであれば。

【内川公民館】

今、公民館が61館ございます。大体小学校の校下単位に設置されているところ多いと思うんですが。市のほうでは、ここ10年来、学校の統廃合を進められておいでます。現在、もうかなり進んでおりますが。この後10年後に向けて、学校の統廃合をどのようにお考えになっているか、基本的な考えがあれば教えていただきたいというふうに思っております。

【村山金沢市長】

ここも教育長との関連があるのでなかなか難しいところはあるんですけれども、全体的

な方針としてであります。まちなかの特に小中学生の子どもたちの減少が激しいところもあります。現在はそのまちなかを中心とした統廃合と、そして郊外部に対しての人口増、ここはまた子どもたちが増えているところに対しての増加ということも対応していきたいというように思います。

一つの考え方の大きな軸として、まちなかの統廃合の中では、子どもたちの学ぶ環境の確保に重点を置いています。といいますのも、学級の編成が難しくなるような人数であったり、あるいは部活動などについても現在支障が若干出始めております。野球のチームがつかれない、サッカーのチームがつかれないというような人数になってくる。そうすると、部活動は、野球をやりたい、サッカーやりたいと思っても、この学校に入ったらできないという状況になっていくので、そのチームがつかれるぐらいの環境が大事なことでありたいというように思っています。

もう一つは、その就学の距離にも関係するということのように思います。内川は、そのご心配はあるかなというように思いますし、同じように山間部の地域では子どもの数が少なくなっているところがあります。ここについて、現状でどうしていくということが言えなくて申しわけないんですけども、その通学環境も含めて検討すべき課題というように思っています。

【内川公民館】

ありがとうございます。今ほどのお話の中で追加の質問で恐縮なんですけど、今の部活動が大幅に変わるということスポーツ庁のほうで提案されています。その中で、生徒さんが少ないところの部が設置できないということになったんですけども、それは実は、以前から小規模校や中規模校ではそういう問題たくさんあるわけなんで今始まったわけではないわけなんですけど、働き方改革の中のどさくさの中でそれがごちゃ混ぜになっての議論しているんですけど、金沢はそういうことを十分見越して、小さくても活躍できる子どもたちの場、学校、それから財政を最優先した形での統廃合にならないような、そういう方針をぜひお願いしたいと思っています。これは意見でございます。

【村山金沢市長】

ありがとうございます。

もう一つ申し上げなきゃいけないのは、学校の定数についてのその配置は県のほうが行

っているということで、その中での学校運営をしなければならないというところでの事情もありますので、なるべくご意見を伺いながらつくっていければというように思っております。

【三馬公民館】

一つお尋ねと、もう一つは要望があります。

お尋ねのほうですが、さきにお話がありましたように、10年後の金沢を皆さんと一緒に考えるという中で、市民参加型のワークショップというお話がありました。これはもう具体的に進めていращやるのでしょうか。

実はなぜかと申しますと、できれば私の希望として、高校生とかに入っていただきたいなという気持ちがございます。高校生は、例えば県外の大学を出たとしても就職で帰ってきたいとか、また本当に戻ってきていただければという強い願いも持っております。だから、高校生なんかも入っていただきたいなと思ってお尋ねです。

もう一つですが、要望ですが、以前からお話もういرونなところで出ております。例えば三馬でしたら、ほぼ、一部とは言えませんがバスが本当に少ないんですね。私自身はまだ仕事のためもあって車はまだまだ手放せないと思いますが、高齢の方がまちなかに出るときにもだんだんバスの本数も減ってきております。正直な話、雪の多いときでしたら、一時期、三馬方面のほうのバスがもう全く入らなくなりました。ですので、本当に大きなバスを見ましても、乗ってる方がいращやらないとき空で走っているときもあるくらいです、時間帯によっては。ですから、本当に小さな車でもいいので本数が増えるといいなと思って、常々年配の方からもお話もお聞きしたりするので、それは要望です。

【村角企画調整課長】

企画調整課長の村角と申します。

1つ目、市民参加型のワークショップでございます。既にもう募集を開始いたしております。5つのテーマで今募集を開始しております、例えば「まちづくり」であったり、「暮らしづくり」であったりということで募集を開始して、今、少しずつ参画者の声が届いているところです。

今ご意見としてありました高校生、できるだけ若い方々の、要はこれから次代を背負っていく方々の意見ということかと思っております。

我々もそうした方々のご意見非常に大事だというふうに思っております。ただ、なかなか中学生、高校生の意見を直接聞く機会というのが時間の制約もありましてなかなか難しいのが現状です。

アンケートについては、皆様も対象にさせていただいております。高校生についても、直接は高校生というダイレクトな聞き方は今のところなかなか難しいかなと思っておりますが、先ほどパワーポイントでも出ておりました若者の会議が18歳ということで、基本的には大学生以上になりますけれども、少しでも若い世代からの意見を大切にしながら、これからまた進めていきたいというふうに思っています。ご意見ありがとうございます。

【新保都市政策局長】

もう一つ、路線バスについてのご要望ございました。

路線バスは北陸鉄道という事業者、それからJR西日本バスという事業者が運営をしております。ただ、コロナ禍になってから、皆さんやはりバスを使われなくなったということもあります。それから、観光客の方が少なくなってバスが使われなくなったということで、両方の交通事業者の方々、大変今苦しい状況でございます。その中で、郊外のほうで一部路線が切られたり、ちょっと間引きがあったりということで、市民の方々にもご迷惑かけているというような状況についてはお聞きをしております。

市としても、今はどうやって路線バスを守っていくか。まずは使っていただかないと交通事業者の方々も皆さんに利便性の高いそういう路線も確保できませんので、そういう中で今第3次交通戦略というものをつくっております、どのようにして市民の方が乗っていただくか。乗っていただいた上で、バス事業者の方々にもう少しバスの使いやすいそういうルート、それから便をつくっていただく、そのような政策をこれから取っていききたいと思っておりますので、またよろしく願いいたします。

【三馬公民館】

先ほど本当に細かいことを申し上げて、丁寧に説明ありがとうございました。

金沢方式、金沢の強みというのは、公民館も金沢方式にのっとって行われておると思いますし、お隣の地域におきまして、例えば悪いんですけど野々市さんやら津幡さんにも金沢方式は通用されておらないと思います。

今後10年間を考えるに当たりまして、公民館どうあるべきなのかということを僕も常々

よく思うんですけども、例えば先ほどの市長のお話の中にイベントの数が金沢は多いんだよというお話もありました。

例えば僕のところ、三馬におきましても、イベントは決して少なくないと思いますし、この行事に対しても幼稚園やら小学校やら中学校やら、高校の校長先生までにもお願いいたしまして参加してもらうような方法を取っております。これもやっぱり10年までもいかないんですけども、継続していくために大事なプロセスじゃないかなというふうに思っておりますし、果たしてそれでこの金沢方式、公民館が持続的に発展していけるのかなという疑問もありますし、できれば市長、また生涯学習課の課長もいらっしゃいますので、10年後を見据えた公民館というのはどうあるべきなのかというご助言いただければなというふうに思います。

【村山金沢市長】

金沢方式という形のものがあることを私は金沢に来てこんなものがあるのかと驚きました。様々なご意見をいただきます。町会からもご意見いただきますし、あるいは消防団のポンプについてとか、児童館どうするかというところも含めてお話をいただきます。

今、町会の組織率が低くなってきているということ、そして今後どうこれを継続していくかということにも課題があることを認識しております。

一方で、金沢方式が全く駄目なことかということ、これまでの公民館の運営あるいは町会の運営などが、これがあったからこそ様々な意見を取り入れて公民館であったり児童館であったりがより使い勝手のいいものになって知恵を出し合ったからこそ、その結束ができたというような、そういった価値もあっただろうというようにも考えております。

現在、金沢方式がどうあるべきかということを役所の中で関係部局において、そういったところも含めて検討しているところです。ですので、またご意見を聞かせていただければというように思っております。

また、今後、公民館については、この地域での活動、そして様々な学習をする場でもあるというふうに思いますし、何より人と人とが会って高め合う、あるいはそこで話をするだけでもいいんですけども、これがこのコロナ禍で制約されたがために、より重要だということを認識した方も多んじゃないかというように思っています。これからそういった地域の中で果たしていく役割は非常に大きいというように感じております。

【安宅生涯学習課長】

生涯学習課長としての意見という形になりますが、公民館がこれからどうあるべきかというのは、直接住民の方と一緒に今やられている館長さんなどのまたご意見というのは当然聞いていく必要もありますし、今市長も申しましたとおり、在り方検討会というようなそういう組織がありますので、その中でも館長さんの意見というものをぜひ言っていただいて、こちらのほうからまた言うことによってどういうふうになっていくかというのがあると思うんですけれども。

ただ、自身として思うことは、やはり固定客ということではなくて、住民の方々に公民館活動というのを理解していただくという必要はあるかなというふうに思います。

先ほどおっしゃったように、いろんな方に参加していただいて、公民館ってこんなことしとるんやということを理解をしていただくということがまずは住民の方々にとっては大事なことかなと。

昨日の台風の関係もあって、その避難所として公民館があるんやよというふうなことでもきっと住民の方は、若い方で特に分からない人も多いと思いますので、そのために公民館があるんやというようなことも理解していただく必要があると思います。

そういう意味で、まずは公民館のほうで地域の方々にどう公民館活動を理解できるかということのをこれから取り組んでいければいいかなというふうに思います。

その10年後のお話については、これからまた市内プロジェクトのほうで話が出てくると思いますので、そのときに私のほうからまたいろいろとご意見させていただきたいと思います。また、何かありましたら言っていただければ結構でございます。

【伏見台公民館】

実は、先ほど市長もおっしゃっていましたが、JAZZ STREETというのが17、18、19とありまして、私、3日間堪能させていただきました。昨日は文教会館のステージで市長がフルートを吹いて非常に感動をしました。

本当にイベントの多さということで書かれていましたけれども、そういう文化ってやっぱり体験することだと思うんですね。昨日、出演されてた方も久しぶりにお客さんの前でやりましたっていう声をたくさん聞いたんです。やっぱりやられる側も聴く側もすごい飢えてるし、ああいうイベントというのは本当のプロの本多俊之さんという方がいらっちゃって、それは四高公園で見たんですけれども、本当に感動するような声もあれば、もう素

人に毛が生えたような人の演奏もあつたりで、非常に何かいろんなものが聴けていいイベントだなど思ってるんです。こういうイベントをJAZZ STREETに限らず、どんどん続けていっていただきたいなど。言い方はちょっとあれですけども、市がやるイベントもあり、僕らみたいな草の根で公民館でやるイベントもあり、やっぱりいろんなことを体験していくというのが大切なのかなって思いました。

自分も今年公民館1年生なんですけれども、いろんなことをやっていきたいなど思っておりますので、またいろいろとよろしく願いいたします。

【村山金沢市長】

ありがとうございます。身近な体験の場としての公民館の一つの役割というのは大きいように思いますし、これからに向けての大きなヒントになるようにも思います。

実は、金沢以外のほかの地域に出張等に行くこともあるんですけども、それまでのやってたイベントをやはり3年目でもやらないというところも非常に多いです。

おかげさまで百万石まつりを行ったこともあって、百万石まつりやったんだからうちもできるだろうというような考えを持っていただいている地域、これは金沢市内じゃなくても、ほかの地域のお祭りも含めてなんですけれども、活気が戻ってきてるなというように感じております。

JAZZ STREETも、感染拡大の防止はしながらということになって、一部分、例えば四高記念館の中でもお酒を飲めずに、結果、エリア外ではみんな飲んでいるんですけども、中には持ち込めないというところなどのご不便をおかけする中でも、できる限りでやっていきたいというように思っていますし、金沢マラソンも含め、これからも行事、イベントはたくさんありますので、なるべく通常どおりの形で開催していきたいというように思っています。

また、公民館におかれても様々なイベントの企画をいただければというように思っております。

よろしく願いいたします。

4 市長まとめ

【村山金沢市長】

本日は遅い時間までお集まりいただきましてありがとうございました。

これからに向けての議論ということでもありますけれども、今日をきっかけにまだこれから都市像をつくっていく段階でありますので、今後ともご意見を聴かせていただきたいというように思います。

また、いただいたご意見の中で回答できなかった部分もありますので、追って担当課から回答させていただきたいというように思っております。

いずれにしても、かなり先のスパンの長い話で10年後という設定をしましたが、これだけ様々な意見をいただきました。本当にありがとうございました。

また、策定に向けてご協力いただきますことをよろしくお願い申し上げます。